

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌屯田校		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 27日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 10月 27日 ～ 2025年 11月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動空間・スペースについてはある程度確保されている。	個室を除いては密室にならないように工夫しており、個別療育ではあるが全員が注意を向けられる環境になっている。個室についても完全に閉めることは無く、お子さんが気にならない程度に空けておくことで完全な密室にはならないようにしている。	机等の配置によってはまだまだ使いやすくなる余地は考えられるため、より適切な配置を構築していきたい。小集団では待合室も有効活用し、場面の切り替えも促しながら支援を行っている。
2	毎日支援ミーティングを行っている。	職員が気になった事を毎日ミーティングで情報共有を行っている。休みの職員がいても記録として残しているので全員に情報が行き渡っている。タイムリーに共有できているので次の支援から生かす事が可能となっている。	お子さん以外の運営的な部分でミーティングを定期的に行えたらと考えている。現状は不定期であることから、定期的な時間を設ける事でより意見を発信できるような環境を整えていく。
3	通所を楽しみにしている。	まずはクラ・ゼミに来たいと思うようにお子さんの好きなものを把握しながら支援に臨んでいる。関係性を構築した後、アセスメントや保護者様の情報をもとに、さらに必要な支援を展開できるように進めている。	より教材の充実を図っていく。他校舎から教材を分けていただいた事でバリエーションが増えたが、より幅広く支援していくためにも職員間で情報を共有し、必要なものを準備していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数について	今年度は下半期において職員の数が少なく、追加利用をお断りするケースが多くなってしまった。より多くの方に1日でも追加でご利用いただけるように配備していく必要がある。	他事業所にヘルプ要請を随時行っていく事で一人でも多く通っていただけるように連携していきます。さらに、利用日時を移動できるご家庭にご協力いただき、1週間のスケジュールを見直していきます。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練の周知	定期的に地震や火災時等の訓練を行っているが、参加人数が限定的であることから、全体に情報が行き渡っていなかった。ブログでは発信しているが、全員が見ているわけではないので、皆さんの目に一度でも止まるような周知が必要。	皆さんの目に留まるような周知方法として、ブログの発信は継続しつつ、その他に事業所内の掲示やlineから全体発信を考えている。さらに、多くの利用者様に参加いただけるよう、開催日時は熟慮しながら進めていきたい。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催・きょうだい向けのイベントの開催等	今年度は茶話会を実施させていただきました。初めてという事もあり試行錯誤ではありましたが前向きな評価をいただいております。しかし、多くの方にご参加いただける形にはなっておりませんので、皆さんの期待に応えられるよう企画立案していきます。	開催日を多く選定し、時間も来ていただきやすい日を集計する事で多くの方に参加していただけるよう考えていきます。さらに、どのような会にしたいかアンケートを取る事で実りのある時間になるよう検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌屯田校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 7

回収数 7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	0	0	0	個々が集中できるように工夫されています。	各ブースを用意し、お子さんによっては個室も使用できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0		必要なサービスを提供できるよう整えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	1		バリアフリーではありませんが、玄関が滑りやすいなどの点は改善の余地があると考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0		毎日アルコール消毒を行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1	0	0	常に専門的な視点でフィードバックしてもらえているため、子どもの特性や成長が見てもらえていると感じます。支援者によって支援の仕方、促し方の変化が見られます。	引継ぎを徹底し、校舎全体でお子さんの特性を把握しながら支援をさせていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0		都度支援の情報共有を行い、より良い支援活動を展開していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0	初回の支援計画は概略的と伺っていました。次回の計画はより分析されたものと聞いています。	支援を重ね、より具体的な支援内容を展開できるようアセスメントしていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0		ガイドラインに基づき必要な支援内容を考え運用していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		より細かくアセスメントしていきながらお子さんに合った計画を作成し支援に繋げていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0	子供の成長に合わせてその時々で様々な活動を用意していただいていると思います。	より細かくアセスメントしていきながらお子さんに合った計画を作成し支援に繋げていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	0	5		今後、ご要望に合わせて幼稚園等との交流も視野に入れていきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		契約時にご説明させていただいておりますが、必要に応じて説明の機会は設けていきたいと考えています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0	丁寧な説明がありました。	今後も計画書を提示しながら丁寧な説明を心掛けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	0	0	4		家族支援は行っていますが、研修の機会はあまり多くないため、計画していきたいと考えています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0	家庭での様子を聞いてもらえたり、支援中の様子をたくさん話して貰えて情報共有がしやすいです。支援後に毎回伝え合う時間を設けていただいています。	今後も積極的に保護者様とお話させていただき、情報共有をしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0	支援後に毎回伝え合う時間をいただいています。	こちらから待つのではなく、積極的に提案する事で話しやすい環境を構築していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		今後も利用者様保護者様の立場になって支援を進めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	0	2	兄妹で参加できるイベントを開催してもらったり長期休暇中など兄も付き添いしている際、積極的に声をかけて下さり兄弟の普段の様子も聞いていただけて助かります。	より多くの方に参加していただけるようイベントを立案していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	1		迅速かつ丁寧に今後も対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0		それぞれに合わせた対応を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	1		利用者様全員に行き渡るように情報の更新をしていきたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	1		十分注意して今後も保管していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	3		ブログでは周知していますが全員に情報が行き渡るよう再度方法を考えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	4		出来るだけ多くの利用者様に参加機会を設けていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	1		今後も安心安全を第一に考えて支援を提供していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	1		その様な事があった際は速やかに対応していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0	先生たち皆さんが優しくどんな状況でも受け止め笑顔で接してくれている。	今後もそのような評価をいただけるように継続していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0	子どもも場所に慣れ日々の通所をとても楽しみにしている。	来たいと思ってもらえるような支援を今後も行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0	子どもの支援だけでなく親としても相談など聞いてもらえてとても満足しています。管理責任者の方にいろいろ相談させていただいています。親切に話を聞いていただいています。	お子さんの支援は勿論、保護者様の困り感等も伺いながら一緒に考えていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		密な状態を作らないように配慮しています。	物の配置を常に考えながら少しでも広々と使えるように考えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		他事業所からヘルプを要請し、必要なサービスを提供しています。	現在は人数が不足していると感じています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		重度の方は対象としていませんので、バリアフリーは大きく意識していません。	バリアフリーではありませんが、玄関が滑りやすいなどの点は改善の余地があると考えています。エレベーターがない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃しています。	毎日アルコール消毒を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室を用意しています。	1室しかない為、複数名個室を利用したい場合は現状難しいと考えています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		不定期ですが、運営会議を行っています。	定期的に開催していく事も検討していく必要があると思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			事業所全体で周知する時間を設け、業務改善に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日支援ミーティングを実施しています。	定期的に開催していく事も検討していく必要があります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	他校舎の上長が定期的に監査を行い業務改善に繋がっています。	今後も内部監査を実施し、適正な運営を心がけています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		他校舎の見学や「発達支援研究所」と連携した研修を実施しています。	地区で開催している研修は中々参加できていません。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			今後も適切に行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者様から定期的のアセスメントを取らせていただいています。	毎年行っていますが、必要に応じて更新していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員を交えながら会議を定期的に行っています。	今後も定期的に行っていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		決められたファイルに綴じておくことで、誰でも閲覧できるようになっています。	定期的を確認する機会を設け、より支援計画を意識しながら支援に臨む環境を構築していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会社独自のアセスメントシートを使用しています。	アセスメントシートの理解をより深めていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに則った5領域に関わる計画を作成し、具体的な支援内容が提示できるように心掛けています。	今後も必要な項目を設定しながら具体的な支援内容を展開していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			常にチーム単位で考えながら今後も進めていきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		祝日や長期休暇など臨機応変に対応しています。	日々チームで考えながら取り組んでいます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育をメインにしつつ、毎月小集団のイベントを企画しています。	個別療育を主としているため、必要に応じて小集団の活動も取り入れていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日話し合う機会が設けられています。	毎日ミーティングする時間を設けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			毎日ミーティングする時間を設けています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援から3日以内を目標にし記入しています。また、毎日話し合う機会も設けています。	出来るだけ速やかに記録を入力できるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリング会議を実施しています。	今後も期限を守りながら作成していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援や活動の中で関りが深いスタッフが参画するようにしています。	より多く参加出来るように計画していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			医療機関と連携していますので、保護者様のご要望があれば支援迄の体制も整えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			保護者様のご要望があれば検討していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			保護者様のご要望があれば検討していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				現状、連携は行っていないので支援等の助言は受けていません。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		保護者様からのご要望があれば、検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		より丁寧なフィードバックが出来るように心掛けています。	来所の都合がつかない保護者様との連絡を増やしていく必要があると考えています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族支援は行っていますが、研修の機会はまだ多くないため、計画していきたいと考えています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧な説明を心掛けています。	ご契約の際にお伝えさせていただいていますが、必要に応じて説明の機会を設けていきたいと考えています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		皆さんの利益を尊重しながら支援を展開しています。	現状に満足せず、これまで以上にお子さんの利益を尊重しながら進めていきます。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			今後も計画書を提示しながら丁寧な説明を心掛けていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		スケジュールを組んで時間を取れるようにして計画しています。	こちらから待つのではなく、積極的に提案する事で話しやすい環境を構築していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現状保護者会は開催出来ていません。きょうだい参加のイベントは実施した経験がありますので、今後も企画していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			そのような時には迅速に対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			ブログは毎月更新していますが、皆様に情報が行き渡るよう再度方法を考えていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関わる書面については鍵付きのロッカーで保管しています。	今後も継続して個人情報の取り扱いには注意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんに合わせた対応を心掛けています。	来所の都合がつかない保護者様との連絡を増やしていく必要があると考えています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		保護者様からのご要望があれば、検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、訓練も定期的を実施しています。	ブログでは周知していますが、必要に応じて口頭でも行ったことを報告していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画の作成を行い、本部が主催の研修の受講や校舎ごとに訓練を実施しています。	ブログでは周知していますが、必要に応じて口頭でも行ったことを報告していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に情報を聞き取り、お子さんの状態について確認しています。	書類の確認とともに日々の情報共有から情報を更新していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	事前に情報を聞き取り、お子さんの状態について確認しています。	おやつ等の提供は行っていますが、イベントで食べ物を扱う際には、丁寧に聞き取りを行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			定期的に研修を実施していますが、今後も細心の注意を払いながら安全管理を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			周知が不十分であることは考えられるため、定期的にご案内していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険と感じる事象があった際は、ヒヤリハットをまとめるように心掛けています。	今後も事故防止の為、計画を立てていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置して研修や訓練を行っています。	今後も事故防止の為、計画を立てていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束委員会を設置して研修や訓練を行っています。	身体拘束の3原則に則り、適切な判断ができるよう準備をしています。